

議会だより

行政報告	2~3
町政のそこが聞きたい	4
一般質問	5~6
議員の出欠状況	7
予算審査特別委員会	8~9



役場庁舎ロビーコンサート風景（3月23日）

標津高校吹奏楽部

第37回全日本リコーダーコンテスト出場

3月27日東京・江戸川区総合文化センター

- 高校生の部、合奏の部 金賞受賞
- 五重奏以上の部 銅賞受賞

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

標津町観光大使に 作曲家・ 演歌歌手 岡 千秋氏に委嘱

金澤瑛町長の行政報告

観光大使

町の魅力発信やPR活動の推進等による交流人口の拡大を図るため、現在、出身地の岡山県備前市において、特別観光大使を務めるなど、東京を拠点に作曲家・演歌歌手・日本大衆音楽文化協会理事など幅広く音楽活動を行っているっており、また本町の「町民まつり水・キラリ」の生みの親でもある(故)牧野昭一先生と交友が深かった「岡千秋」先生が、本町初の標津町観光大使として就任していただけたこととなった。

去る3月4日に、町議会議長、副議長、町内の観光・経済関係団体長が見守る中、岡先生に委嘱状を交付した。期間は平成28年3月4日からの4年間と

し、ご自身の音楽活動に併せて、標津町観光などの情報や魅力を全国各地でPRしていただき、観光振興はもとより町の知名度向上にも寄与して頂くことになり大変心強く、誠に有り難い支援者を得ることができたと思っ

ている。観光振興の推進に当たっては、観光情報の発信が極めて重要である。その手法、方法として一番効果的なのは、口コミの情報発信と言われていることから、町のシンボリック存在の観光大使の活用による観光情報等の発信により、

交流人口の拡大が図れる。地域経済効果を高め町の活性化に弾みがつくものと大きな期待をしている。岡先生の、そのお気持ちと行動に敬意を表し、深く感謝している。

除雪経費

記録的な暴風雪と大雪に幾度となく見舞われ、除雪費用が過去最高の2億円を超えた昨年と比較し、今冬は、12月から1月前半までは穏やかな天候が続いていた。その後1月18日と2月20日、さらに3月1日に発達した低気圧が通過し、暴風雪警報・大雪警報などが発令され、被害の報告はなかったものの、道路の通行止めや学校の臨時休校など住民生活に影響が生じた。

除雪費用は、3月7日時点で予算額の90%となる7140万円の支出が確定している。今後の降雪状況によっては予算に不足が生じる可能性があり、その場合、専決処分で対応したい。



決議・意見書

○標津町非核平和と豊かな自然を守る町宣言に関する決議

提出者
総務経済常任委員長

吉田 智

○教職員定数削減に反対する意見書

提出者
文教福祉建設常任委員長

南 憲治

同意案件

根室町村等
公平委員会委員
下川原 洋

〈任期〉

平成28年4月1日～
平成32年3月31日

標津町 課設置条例

条例の一部が 変わりました

今までの農林水産課が農林課と水産課に分かれました。

この改正により標津町議会委員会条例も改正がありどちらも総務経済常任委員会所管となります。

一般会計の補正予算

主なもの

(単位:千円)

項目	金額	内容
情報セキュリティ強靱化事業	50,947	マイナンバー制度開始に合わせたセキュリティ強靱化経費 国 5,450 地方債 45,400
財政調整基金積立金	100,000	政策積立
公共施設Wi-Fi環境整備事業	3,000	Wi-Fi環境整備 国3,000
地域資源・既存ストック活用地域プロジェクト経費	11,411	移住・定住・雇用・起業等の受け入れ環境の充実に向けた経費 国11,268
ふるさと新生プラン・ステップⅡ推進基金積立金	100,000	政策積立
病院会計繰出金	66,648	入院収益及び介護給付収入の減による繰出金
秋サケ不漁対策緊急支援事業	40,112	増養殖負担金のうち「さけ・ます漁獲高割(5.8%)会費」の3割を漁協に支援する繰越金 40,112
標津町沿岸漁業振興対策事業(デジタル無線機整備)	4,680	海難救助及び災害救援機能強化のためのデジタル無線機整備に対する補助
水産物ブランドづくり推進事業	3,737	船上一本メをはじめとする当町の特産品に付加価値をつけるための事業費 国 3,537
サーモン科学館魅力づくり整備事業	4,073	国内、外国人客への説明スペースやテレビモニター等を設置し、集客を図る 国4,073
国有財産取得費	5,602	裁判所旧宿舍及びその用地の取得費

◎崎無異育成牧場

指定管理者

標津町農業協同組合

代表理事組合長

今井 和善

期間はそれぞれ

4月1日から3年間

◎標津サーモン科学館

指定管理者

特定非営利活動法人

サーモンサイエンスミュージアム

代表 **市村 政樹**

公の施設に係る
指定管理者の更新

一般質問

町政のそこが聞きたい

平成28年第1回定例会(3月9～16日)で2議員が一般質問をしました。
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

吉田 智 議員

5ページ

- 『標津町史(第三巻)』の発刊は？

参考資料1



- 長野県生坂村との積極的な交流を！

参考資料3

生坂村名産『山清路巨峰』 「標津の観光や産業見たい」
長野・生坂村長、金沢町長と懇談



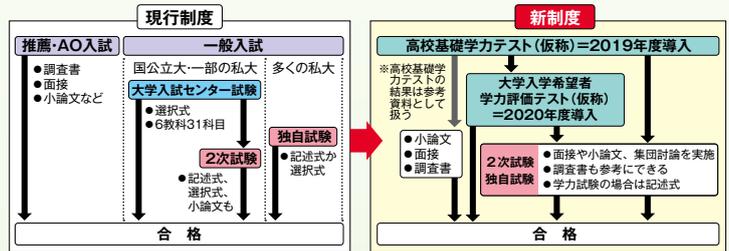
金澤瑛町長(左)と懇談する長野県生坂村の藤澤泰彦村長

- 学習指導要領改訂

アクティブ・ラーニング導入！

現場の対応は？

新しい大学入試制度のイメージ



大学入試改革の実施日程	2014年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
高校基礎学力テスト(仮称)		詳細な制度設計	→	プレテスト実施	→	新テスト導入		
大学入学希望者学力評価テスト(仮称)			→	専門家による検討、検証	→	プレテスト実施	→	新テスト導入

木下 孝 議員

6ページ

- 北方領土返還問題の現状と今後の推移について…



日ソ共同宣言署名

参考1
日ソ共同宣言
1956年10月、日本と日ソ連の
国交回復について鳩山一郎、ブルガー
ニン両国首相(当時)がモスクワで締結し
た文書。平和条約締結後に歯舞群島と色
丹島を日本に引き渡すことを規定した一
方、合意できなかった択捉、国後両島の
扱いは触れられていない。



「大日本恵登呂府」の標柱



最上徳内

近藤重蔵

●幕府は1798年(寛政10年)、大規模な調査団を派遣し、この時、近藤重蔵が最上徳内と共に択捉島に渡り、標柱を建て日本領を主張



吉田 智 議員

開町100年	開道100年・開町90年・町制施行10年
<p>飛躍 北道100年 豊田尚弘氏</p>	<p>標津町史(第一巻)</p>
<p>北海道知事 豊田尚弘氏</p> <p>《昭和54年3月30日発行》</p>	<p>北海道知事 町村金五氏</p> <p>《昭和43年10月25日発行》</p>

「標津町史(第三巻)」の発刊は?

重要案件の一つ 発刊時期を 検討する

問 当町は、佳節を迎える節目の年に、過去二回、「標津町史」を発刊して来た。**参考資料1・参考資料4**

答 平成30年に、町制施行60年、水・キラリ20周年、開道150年、平成31年に、開町140年の佳節を迎える。広くありのままの標津町を描出する町史の編纂・発刊は重要な事である。第三巻の発刊予定は？

長野県生坂村との積極的な交流を

問 一般財団法人「農村開発企画委員会」の橋渡しで交流が始まった、長野県生坂村。**参考資料3・参考資料5**

答 物と物、人と人、イベント相互参加等の交流を通じて、藤澤村長の「末永い交流を！」の要望に添えて行きたい。元氣な自治体から大いに学びたい。

参考資料5



学習指要領改訂「アクティブ・ラーニング」導入 現場の対応は?

標準型学習スタイルで 対応可能

問 大学入試制度が変わり、**参考資料2** 学習指導要領も大幅に改訂され、初等・中等教育に、アクティブ・ラーニング**参考資料6**

答 教育長 ICT教育の推進、ふるさと教育、キャリア教の実践等、標準型学習スタイル(問題解決型学習)を中心に、学びの基礎、基本である言語活動や、コミュニケーション能力の育成を図る授業の充実に向けており、求められる新たな教育に充分に対応可能である。

参考資料6

▼アクティブ・ラーニング
2014年11月、文部科学大臣が次期の学習指導要領改訂を中教審に諮問した際、課題の発見と解決に向けて、児童・生徒が主体的・協働的に学ぶ学習によって、学びの質を深めていくべきことを、基礎的な知識・技能の習得とともに重視するという方向性が示され、話題を呼んだ。そのような学習を「アクティブ・ラーニング」と呼び、現行学習指導要領に盛り込まれた言語活動や体験活動、探究学習、ICT(情報通信技術)を使用した指導の現状を踏まえ、こうした学習をさらに充実させるとしている。児童・生徒が自分たちで設定した問題についてインターネットなどを活用して調べた成果を持ち寄り、議論や発表をすることにより、思考力・判断力・表現力や他者と協業して問題を解決する力や学ぶ意欲を育むことができる。アクティブ・ラーニングは、学生が主体的に問題の発見と探究と解決を行うことが求められる大学教育で先行して実践されてきた。グローバル化や技術革新、雇用環境の変化など流動的な社会で多様な個性を生かす活躍する力を身につけるには、初等・中等教育段階から知識伝達型授業、暗記型学習を脱却して、アクティブ・ラーニングを進めることが必要であるとされ、高大接続「新テスト」でも思考力・判断力・表現力の評価が中心になるといわれている。



北方領土返還問題の現状と今後の推移について…

粘り強く返還運動に取り組む



木下 孝 議員

問 日ソ共同宣言以来、一時、一筋の光明が見えた時期もあったが、我々北方四島の元島民が齢を重ねて行く内に、ロシアの実効支配は着実に強まり、クリル諸島社会経済発展計画の実現により、居住者は、増加する模様である。

答 当町の水産業において、ロシア・トロール船での乱獲や、ロシア領海での水産調査ができない等の深刻な問題を抱えている。北方領土返還は、国民全体ではなく、一部の悲願になってしまわないかを懸念している。何れにしても、北隣協の職務代理として根室四町会の代表として、粘り強く返還運動に取り組んで行く。

更には、北方領土参団の国後島参拒否、ロシア200海里水域を漁場とする北洋サケ・マス流し網漁の全面禁止等、領土返還の機運は全く見えない。

今後の返還運動の推移は？

当町の水産業において、ロシア・トロール船での乱獲や、ロシア領海での水産調査ができない等の深刻な問題を抱えている。

北方領土返還は、国民全体ではなく、一部の悲願になってしまわないかを懸念している。何れにしても、北隣協の職務代理として根室四町会の代表として、粘り強く返還運動に取り組んで行く。



※2 エトピリカ

北方四島の実効支配

参考2
北方領土の歴史的経緯



サン・フランシスコ平和条約【1951年】
日本は、千島列島及び南樺太の権利、権原及び請求権を放棄した。しかし、放棄した千島列島には北方領土は含まれていない。なお、この条約では、放棄した地域がどこに帰属するかなにも決められていない。



ポーツマス条約【1905年】
日露戦争の結果、北緯50度以南の南樺太が日本の領土となった。



樺太千島交換条約【1875年】
日本がロシアから千島列島を譲り受けるかわりに樺太を放棄した。この条約では、日本に譲渡される千島列島の島々が列挙されているが、北方領土は含まれていない。



日魯通好条約【1855年】
国境を、択捉島とウルップ島との間と定め、樺太は混住の地とされた。



北方四島の人口(2014年1月1日現在)

島 嶼	居住者(人)	面積(km ²)
国 後 島	6,153	1,499
択 捉 島	7,778	3,184
色 丹 島	3,094	253
歯舞諸島	国境警備隊が駐屯	100

●合計17,025人が居住

不法占拠された「日本の領土」

第2次世界大戦末期の1945年8月9日、ソ連は当時まだ有効であった「日ソ中立条約」(1941年締結)を一時的に破棄して対日参戦しました。ソ連軍は、終戦後の8月18日より千島列島への攻撃を開始し、ウルップ島まで侵攻しましたが、そこから北に引き返しました。しかし、択捉島以南にアメリカ軍が進駐していないと知り、別の部隊が同28日択捉島、9月1日から4日の間に国後島、色丹島及び歯舞群島をそれぞれ武装解除し、遅くとも9月5日までに千島列島のみならず北方領土をも占領しました。



※1「北隣協」…「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会」の略称
 ※2「エトピリカ」…〈アイヌ語。美しくちばしの意〉チドリ目ウミスズメ科の海鳥。岩礁上で繁殖。常に海上で生活し、小魚を捕食する。北方領土周辺海域に生息。華やかな容姿から「花魁鳥(おいらんどり)」とも呼ばれる。

議員の出欠状況

出席……○ 欠席……×
〔 〕の委員は複数所属

【定例会】議員10人

年・月・日	氏名	山崎	金田	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
H27.6.23	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.9.16	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.12.10	第4回定例会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.3.9	第1回定例会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.3.10		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.3.16		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【臨時会】議員10人

年・月・日	氏名	山崎	金田	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
H27.5.8	第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.10.30	第3回臨時会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.1.18	第1回臨時会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.2.12	第2回臨時会	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【総務経済常任委員会】委員6人

年月日	氏名	山崎	金田	木下	高橋	石橋	吉田
H27.5.8	○	○	○	○	○	○	○
H27.5.20	○	○	○	○	○	○	○
H27.6.16	○	○	○	○	○	○	○
H27.7.28	○	○	○	○	○	○	○
H27.8.25	○	○	○	○	○	○	○
H27.9.9	○	○	○	○	○	○	○
H27.9.29	○	○	○	○	○	○	○
H27.10.21	○	○	○	○	○	○	○
H27.12.3	○	×	○	○	○	○	○
H28.1.18	○	×	○	○	○	○	○
H28.2.25	○	×	○	○	○	○	○
H28.3.25	○	×	○	○	○	○	○

【文教福祉建設常任委員会】委員6人

年月日	氏名	山崎	金田	小川	高橋	大垣	南
H27.5.8	○	○	○	○	○	○	○
H27.6.16	○	○	○	○	○	○	○
H27.7.10	○	○	○	○	○	○	○
H27.9.9	○	○	○	○	○	○	○
H27.10.6	○	○	○	○	○	○	○
H27.10.26	○	○	○	○	○	○	○
H27.11.25	○	×	○	○	○	○	○
H27.12.3	○	×	○	○	○	×	○
H28.2.25	○	×	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】委員4人

年月日	氏名	山崎	金田	吉田	大垣
H27.5.8	○	○	○	○	○
H27.6.23	○	○	○	○	○
H27.7.14	○	○	○	○	○
H27.7.21	○	○	○	○	○
H27.9.16	○	○	○	○	○
H27.10.9	○	○	○	○	○
H27.10.20	○	○	○	○	○
H27.12.10	○	×	○	○	○
H28.1.14	○	×	○	○	○
H28.1.21	○	×	○	○	○
H28.3.10	○	×	○	○	○

【議会運営委員会】委員5人

年月日	氏名	吉田	南	小川	大垣	木下
H27.5.8	○	○	○	○	○	○
H27.6.16	○	○	○	○	○	○
H27.9.9	○	○	○	○	○	○
H27.12.3	○	○	○	○	○	○
H28.2.12	○	○	○	○	○	○
H28.3.2	○	○	○	○	○	○

【予算審査特別委員会】委員9人

年月日	氏名	山崎	金田	南	大垣	木下	高橋	小川	吉田	石橋
H28.3.9	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.3.10	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.3.11	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.3.14	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○
H28.3.16	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】委員8人

年月日	氏名	山崎	金田	吉田	木下	高橋	小川	南	大垣
H27.10.26	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.10.27	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.10.30	○	×	○	○	○	○	○	○	○

【合同常任委員会】委員9人

年月日	氏名	山崎	金田	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川
H27.6.16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.9.9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.12.3	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
H28.2.25	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【道の駅設置に関する調査検討特別委員会】委員9人

年月日	氏名	山崎	金田	吉田	大垣	石橋	木下	小川	南	高橋
H27.9.16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.10.5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.10.27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H27.11.17	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.1.18	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.2.29	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.3.23	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

【全員協議会】議員10人

年月日	氏名	山崎	金田	吉田	南	大垣	石橋	木下	高橋	小川	田中
H27.9.9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
H28.2.12	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

予算審査特別委員会

平成28年3月9日～16日

平成28年度 予算原案可決

総額 94億8,178万円

一般会計 65億6,400万円
7 特別会計 19億8,556万円
病院事業会計 9億3,222万円

平成28年度標津町一般会計を含む9会計予算については、議長を除く9名の議員により予算審査特別委員会（石橋昌幸委員長・吉田智副委員長）を設置し、3月9日から16日の8日間にあたり慎重に審議した結果、本会議において全会一致で可決しました。



吉田 智副委員長



石橋昌幸委員長

予算審査報告

事件の番号	事 件 名
議案第5号	標津町ふるさと新生プラン・ステップⅡ推進基金条例の一部を改正する条例制定
議案第11号	標津町国民健康保険標津病院設置等に関する条例の一部を改正する条例制定
議案第12号	標津町公営住宅条例の一部を改正する条例制定
議案第14号	公の施設に係る指定管理者の指定について（標津サーモン科学館）
議案第15号	公の施設に係る指定管理者の指定について（崎無異育成牧場）
議案第25号	平成28年度標津町一般会計予算
議案第26号	平成28年度標津町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算
議案第27号	平成28年度標津町国民健康保険特別会計（病院事業）予算
議案第28号	平成28年度標津町介護保険特別会計（事業勘定）予算
議案第29号	平成28年度標津町介護保険特別会計（サービス事業勘定）予算
議案第30号	平成28年度標津町後期高齢者医療特別会計予算
議案第31号	平成28年度標津町簡易水道特別会計予算
議案第32号	平成28年度標津町下水道特別会計予算
議案第33号	平成28年度標津町金山地域休養施設等特別会計予算

人口減少時代に挑戦する「政策パッケージ2016」の主要テーマ

- 若い世代の結婚や出産等の理想・希望を叶える
- このまちで暮らしたい、暮らし続けたい希望を叶える
- 生産基盤を高め、地域資源を活かし、人の流れを変える

※開始から3年程度を目途に事業効果等を検証し、さらに新しく追加、拡大した**30事業**を展開する。



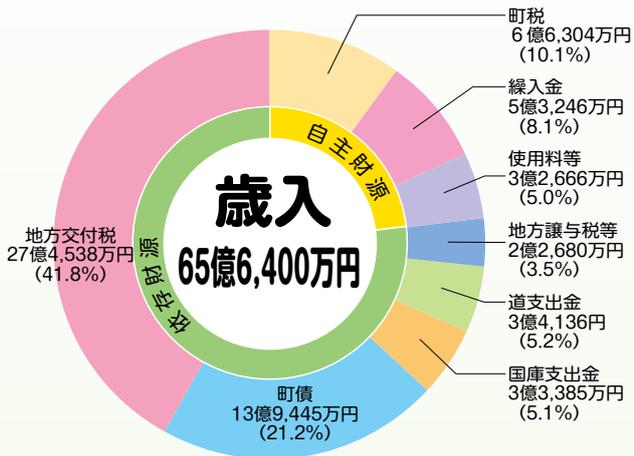
積極大型予算!!

65億6,400万円

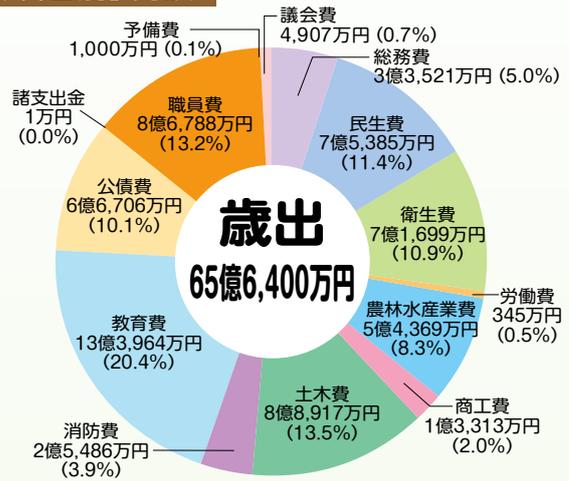
対前年当初比
14.8%増

～町民力・地域力・行政力の結集によるまちづくりの実践～

「財源別」内訳



「科目別」内訳



※自主財源 15億2,216万円 (23.2%)

※依存財源 50億4,184万円 (76.8%)

町債 = 借金

公債費 = 返済金

各会計予算額

会計区分		平成28年度	平成27年度	対前年度比較 (%)
一般会計		65億6,400万円	57億2,000万円	14.8
特別会計	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	8億6,991万円	10億4,096万円	▲ 16.5
	介護保険特別会計 (事業勘定)	4億3,959万円	4億5,261万円	▲ 2.9
	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	3,271万円	2,533万円	28.1
	後期高齢者医療特別会計	1億1,577万円	1億1,442万円	1.2
	簡易水道特別会計	1億9,290万円	1億5,963万円	20.8
	下水道特別会計	3億1,028万円	3億1,149万円	2.9
	金山地域休養施設等特別会計	2,440万円	1,942万円	25.6
	特別会計合計	19億8,556万円	21億1,384万円	▲ 6.1
企業会計	国民健康保険特別会計 (病院事業)	8億3,412万円	7億9,869万円	4.4
	収益的収支	8億3,412万円	7億9,869万円	4.4
	資本的収支	9,810万円	1億2,249万円	20.0
企業会計合計		9億3,222万円	9億2,118万円	1.2
総計		94億8,178万円	87億5,502万円	8.3

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。

寄稿

『御陣屋御造営日記』 に見える地震記事

標津町立川北中学校校長 大木 敏道

標津にはたくさんの方々が残っています。『蝦夷地御領分シベツ表ホニコイ御陣屋御造営日記』もその一つです。

安政二（1855）年二月、江戸幕府は、松前藩に対して蝦夷地一円の上知（幕府が知行地を没収すること）を命じ、その支配を箱館奉行に委ねることになりました。安政六（1859）年蝦夷地を分割し仙台藩、秋田藩、庄内藩、南部藩、津軽藩、会津藩に、領地として与えることになりました。

会津藩は、西別から紋別までの経営と警備を任せられ、標津のホニコイ（現在の標津町ホテル楠付近）に陣屋を築くことになりました。その時の記録が『蝦夷地御領分シベツ表ホニコイ御陣屋御造営日記』です。陣屋の設計を担当した御普

請方鈴木平八が記したものです。陣屋建設を命じられた文久二（1862）年から完成して標津を引き上げた文久四（1864）年、正月までの建設に関する控覚書が記されています。その中に地震の記事があります。といっても標津で地震

が起きたという記事ではなく、江戸で起きた地震が陣屋の建設に関係している記事です。

陣屋の土台下の石がないので、檜木で間に合わせ、杭打ちはしないという指示ですが、標津は土台下から凍り上がるので、戸建具の開閉が難しくなり、震災等の時駆け出すことができません。安政二年の大震災の時、江戸藩邸では戸が開かず御家来婦人が焼死する大惨事になりました。近頃は度々地震もあるので、地震の時人命が危ないようでは、



(御陣屋御造営日記)

不安なので「根杭」を打つてよいかどうか上司に確認しているという記事です。安政の大地震とは、江戸の町を直撃した「安政江戸地震」（地下深部で発生したM7前後の大地震）のことです。死者数約一万人と言われています。この地震の時水戸藩の学者で幕末の日本人に大きな思想的影響を与えた藤田東湖（五十

歳）も死んでいます。東湖は、水戸藩の江戸屋敷（現在の東京ドームの遊園地のところ）にいましたが、一家は揺れを感じてすぐ全員庭にでましたが、母親が「火鉢の火を消し忘れた」と言って建物に入ろうとしたので、東湖は母を追いかけました。その時建物が崩れ、かろうじて母親を庭に投げ出しましたが、東湖は倒れてきた建物に押しつぶされ圧死しました（磯田道

史、『天災から日本史を読み直す』先人に学ぶ防災、中公新書）。また、東大史料編纂所教授の山本博文氏は、幕臣宮崎成身（なりちか）の「昔は家の隅柱の上の方に火打ちと言つて三角の木を入れて固めるなどして、地震が強くても家はつぶれなかつた」という言葉を紹介し、江戸時代の地震だから被害が大きかつたのではなく、久しく地震がなかつたため油断して安普請の家が多かつたため被害が大きくなつたとしています（『日曜日の歴史学』、新潮文庫）。江戸の地震情報を得て、標津に合つた安全な建物を作ろうとする鈴木平八の心意気を感じます。そして、標津の防災を考へるヒントになると思います。その他にも『御陣屋御造営日記』には、幕末の標津を知る貴重な情報があるので、少しずつ読み進めていきたいです。

大木氏は、平成28年3月31日付で定年退職され、4月1日に標津幼稚園長に就かれました。

編集室



前号より、本紙の表題に新たに「町章」を入れました。議会だよりの顔が凜凜しくなつた様な気がします。（手前味噌でしょうか？）

本町の町章は、昭和33年1月1日町制施行に当たり制定したものです。

標津町史（第一巻）（昭和43年発行）によると、町章に関して、左記の通りの解説がされています。

標津町章
 (昭和33年1月1日制定)

- ① 部分で片仮名の「シ」
- ② 部分で「へ」
- ③ 部分で「ツ」を表し
- ④ 部分で「山」
- ⑤ 部分で「海」

全体で「川」を表したものである。

なかなか意味深遠な町章であります。

(吉田 智)